





土 宇 庵 の ち
 概 上 子
 概 する 也 ち ち 大 小 毛 毛
 麦 雨 毛 果 乃 多 日 た 毛 毛
 ら ぬ 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛
 松 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛 毛
 俳 諧 の

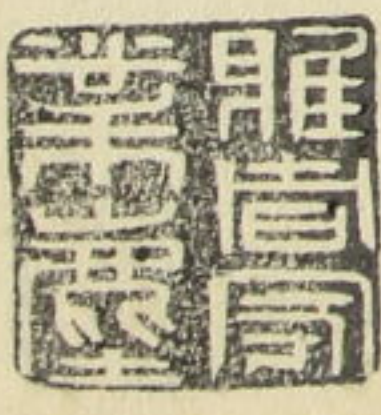
花のお笑とともあひなご
ふせむの白むし乃評く
むのまじりつ由米草場
う華の危れをばし
久さらおあふもあし
お華おものふそめそあか
れ
ものこえあ
あ

草あこも呆鶴出の
あつさむきのひ夕初
かきくうまのの
をむ家言々性示か
いんもか
か
かくやふと妹
くもさ

吉兆也 世に 吉なる事
あり 吉兆との 吉なる事と
撰 吉なる事なる事
等 采人の 氣を 吉なる事
又 吉なる事 乃 筑波を 吉なる事
吉なる事 乃 筑波を 吉なる事
吉なる事 乃 筑波を 吉なる事
吉なる事 乃 筑波を 吉なる事

の吉なる事 乃 筑波を 吉なる事
又 吉なる事 乃 筑波を 吉なる事
吉なる事 乃 筑波を 吉なる事
吉なる事 乃 筑波を 吉なる事

遊め室
己道



蜀小路殿乃和保世教寄
をよまうの屋敷の時

月高牡丹乃
花北下遊以大勢



桃隣新宅

芭蕉

寒く好雪や牡丹の花の家

お葉や芍薬咲てふとさし 且彦

蔭砂や
花宰相の
位 楚山

芍薬

月や

おけの

醫者老う

家 口ヒ士乾

芍薬

切らあけさうと那寺 月教

芍薬の香子

揮るく如残う家 志石

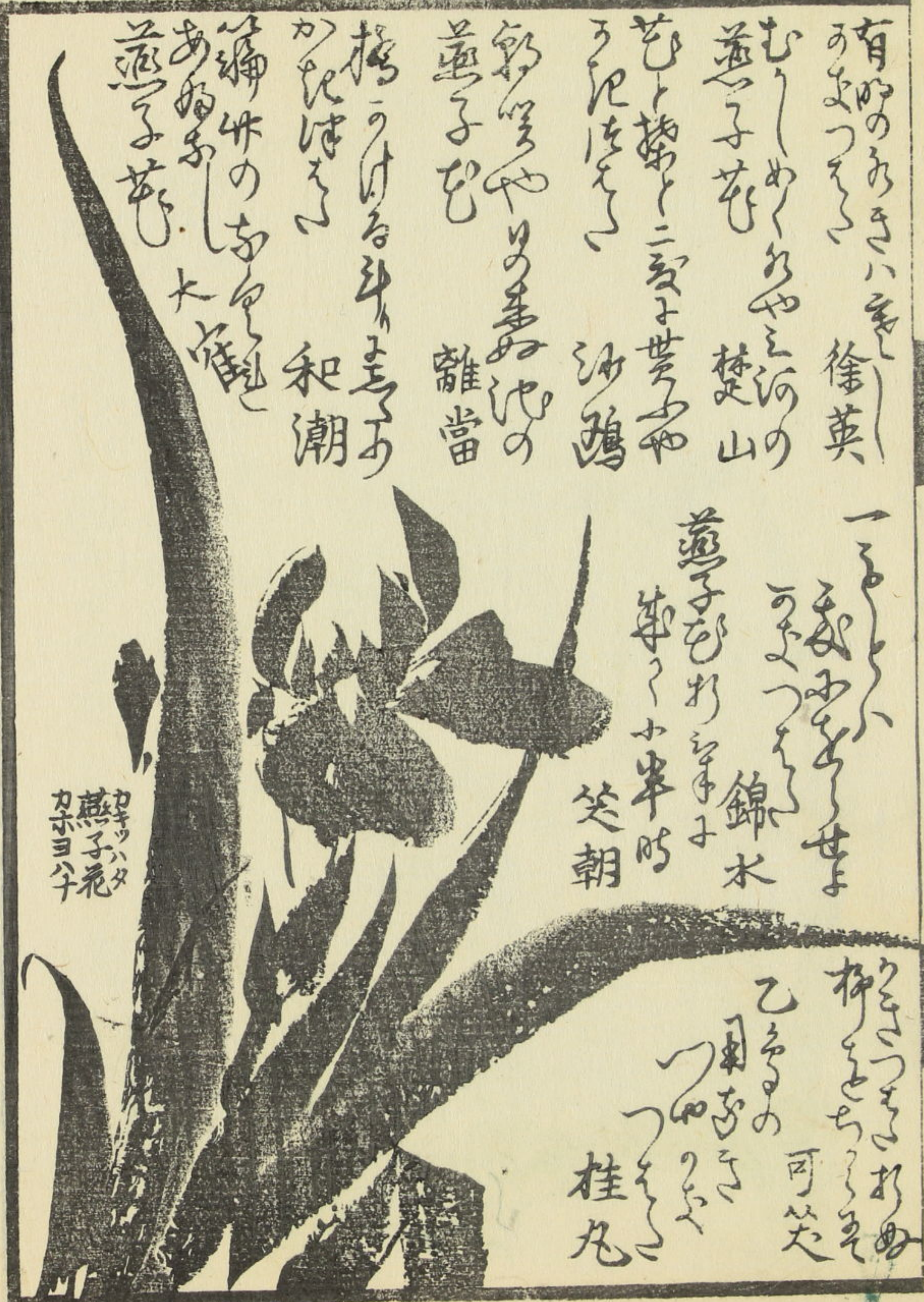


ニクヤク
芍薬
花宰相
正ヒスクサ
正ヒスクスリ

るゆ子さく花吹あめ久し藤さう 和潮
はあこみさく古代の伊達也花菖蒲 扇甫
桶提り河汲や和茶河原久 五土青
雪の宮の多やあゆみの花のるゆ 楚山



ハナヤマメ
花菖蒲
白アヤメ



有明のあまきハきし 徐英
 むししわくわくやと河の 楚山
 花と葉と二葉子葉と和 沙鷗
 うんはをさす 離當
 節多やの葉池の
 葉子む 和潮
 橋うける斗まふあ
 かははるる 大滝
 瀧川のあやうし
 あゆみし 大滝
 葉子花

一もいふ
 花あをさすま
 うんはをさすま
 葉子むおらま子
 葉と半時
 笑朝
 錦水

柳をさすおめ
 可笑
 乙子の
 つゆの
 つゆの
 桂丸

カキハタ
 燕子花
 カキヨウ



女子ハ名子たうハぬ
 ものやう人草 花光
 うう、麻乃夢又
 とさ也美人子 芝洞
 夕風もむつり
 う花や員人草 楚山

美人草
 麗春花

ケシ子
 嬰子
 白ケ注

雨雲もろこく次けのむ生草里
 ううくとら此花あるりわうぬ
 其朝 緑車

如山の紫の物子の子ためし山の角
 一ツ紫のこころれいあいのうひらきこよ
 ひらきこころ一ツ紫のこころの影みち
 如山の紫の物子の子ためし山の角
 一ツ紫のこころれいあいのうひらきこよ
 ひらきこころ一ツ紫のこころの影みち



一ツ紫の
 ひらき
 如山
 紫の
 物子

夏

東岱
二竹
楚山

加山
帰雄

草の意みゆめあつや名うへ
 方丈のうらまふうきあけ
 日のもれ日うらまふあけ
 あけのうらまふあけ
 雲のうらまふあけ
 石のうらまふあけ

緑車
 秋南
 芝石
 旭鳥
 月鏡
 施龜
 梅香
 東峯
 楚山
 李仙



山何や何もあらねど
 山何や何もあらねど

山何や何もあらねど
 山何や何もあらねど

地衣
 草



道字や、眞子抱子、踊り花、楚山
初ふくも、かゝり、うらも、踊り花、玉水
又も、あゝ、欠ひ、死、踊り花、扇南
唐沢の、月、花、さゝ、さゝ、さゝ、
法冠 千玉

著我、の、藤、の、石、の、地

理磧

堀、切、り、と、ま、す、も

切、断、り、ま、す、の

素、徹

著、我、の、花

神、酒、の、花

神、酒、の、花

神、酒、の、花

神、酒、の、花



鳴戸、桔梗、林、山、草、角、東、雲、春、池

著、我、の、花、の、草

節をよきしとハ玉ちく芭蕉の節 楚山

この丁々の節を 片有

常定家の媚も玉ちく
えせ成る節 昆明

玉巻色さす

翠

光る

芭蕉の節

雨耕

ぬす 玉ちく

玉巻色はせとる

ミカハ 吐竜



玉巻芭蕉
ハセラノハナ

昔藤 セウフ川
セウフ湯 セウフ酒
ロウラウリ 長キ根
漸クニ フキコモ

首白の蒲葉の
はつらや 八節の
はつら ころり

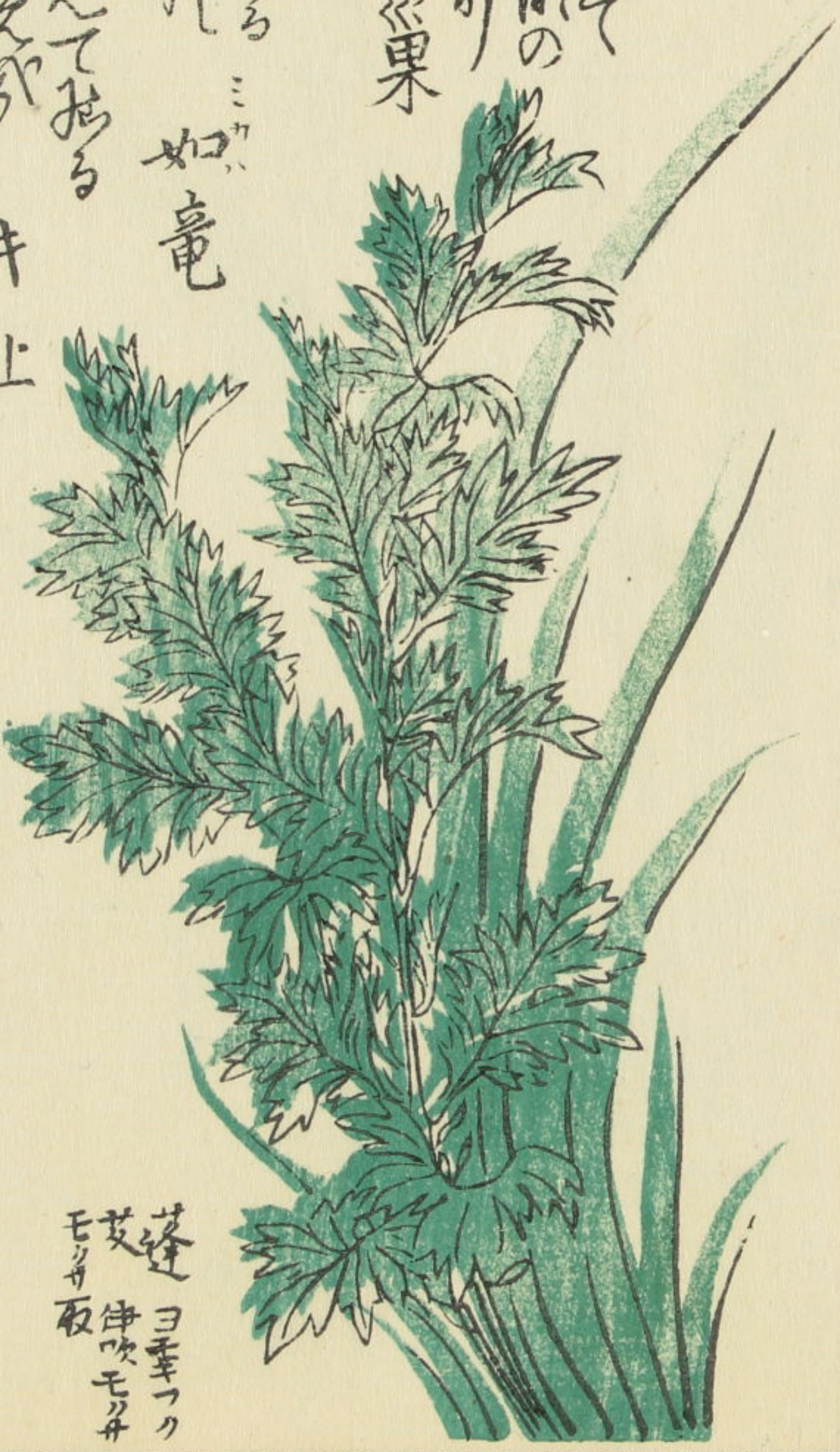
大果

巻あけの
あめのかき
新玉のつれ 如竜

子泣抱く足てある
のころりかえり キ上

谷あめのさゆる
田口れ昔蒲の節 唐古

のひるりし知る
五尺のあめ草 東宇

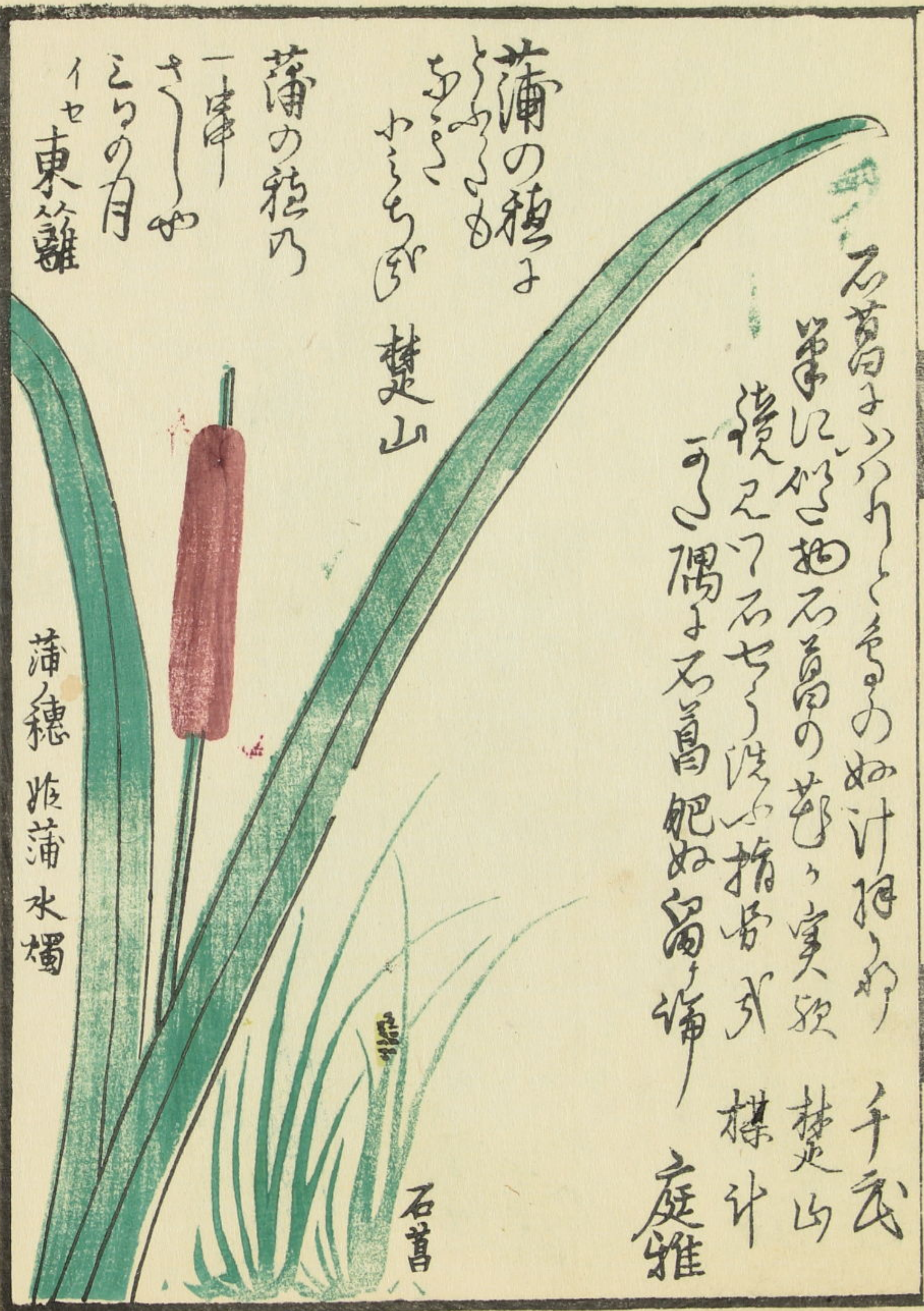


蓬 玉巻
伸吹モリ
モリ板

帆板のつげつげさ
よめさのつげさ
あめ草はまつむ 花央
はつらやのつげさ 楚山

石菖蒲の如汁得る
 葉に似たる菖蒲の花、實は
 後見するや、洗ひ指骨式
 可し、偶々石菖蒲肥如留
 千代 楚山 楳汁 庭雅

蒲の穂子
 一穂
 さしめ
 こりの月
 イセ 東籬
 楚山



蒲穂 楚蒲水燭

石菖

紫菀咲や 芝鶴
 又至は庭の名

風の香

石菖蒲の葉ハ
 楚山



シラニ
 紫菀
 白及
 花ノ白キ斗
 白及ト云

トカトラノキ
 珍珠菜
 キツツ見尾
 虎尾草



とらの尾花
 花乃らあみ
 和正山と
 佳珉

虎の尾より張月花
 あららうら
 楚山

虎の尾より張月花
 申ああら
 扇甫

降こるせ

天南星花

色のみ
 宙丞



テチン
 天南星
 葎鶴44
 雪持44
 舟シラミ

風車を少く笑ふものなれど風車 櫻溪



風車
鐵仙蓮
一種也

世の中此花小
あつて風車

風車
五葉

雨のついでに
あつて

汲くこれ
あつてあり
さうさうま
笑朝

理積

坊がハせり乃きあつて
風車
席有

新井のついでに
さうさうさうま
楚山

石竹ハ被てそつよは花の發
石竹の咲やちつとくは砂
利青
楚山

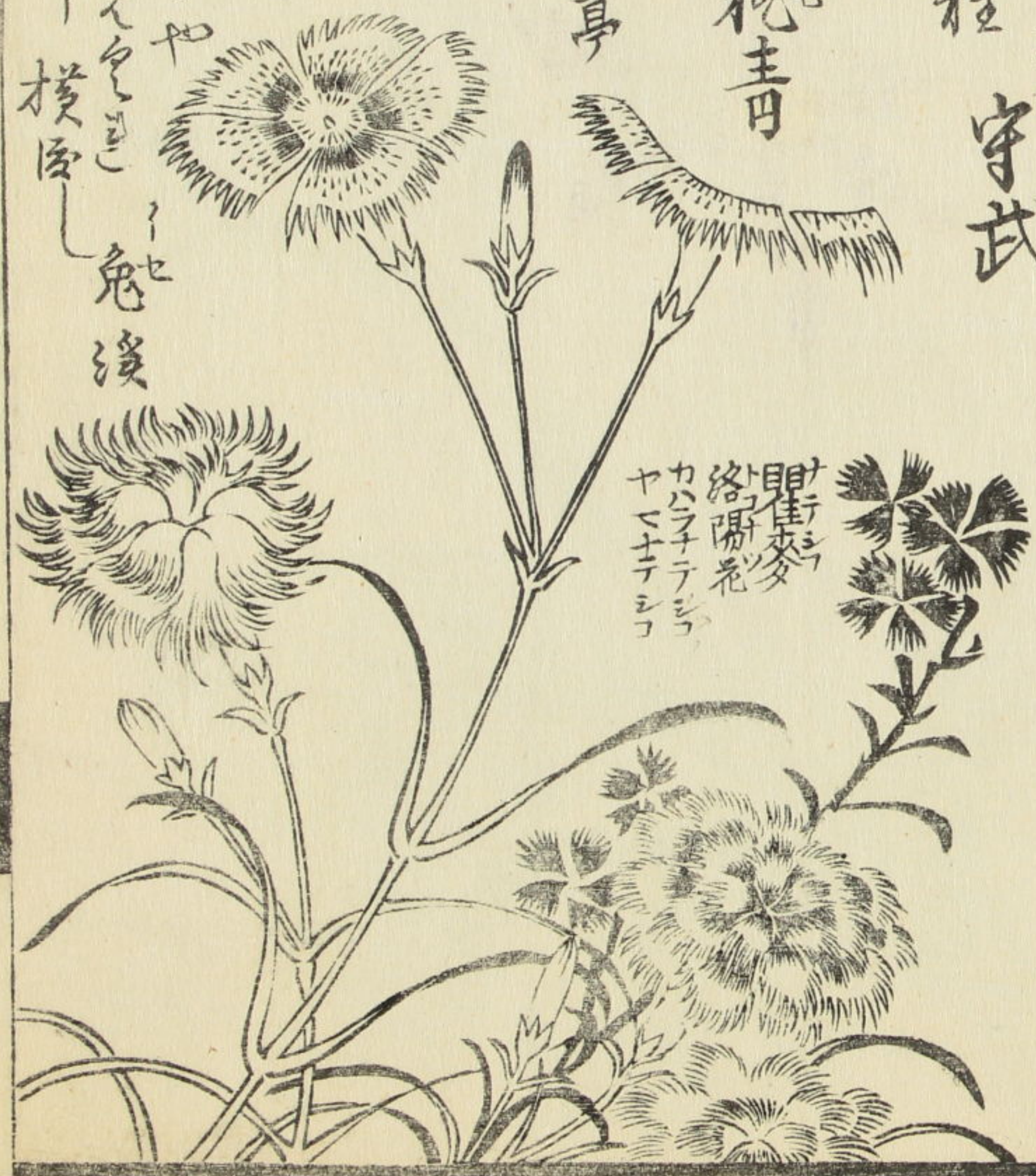
掃子やなほの種
守武
芭蕉菴
枕青

あてしこの笑ひ也
誰れ後扱 水々 麟亭

瞿麥の咲や日
そふまの影 楚山

掃子や中子
こむ栴の影 笑朝

あつてこれ
毛 都堂
連子や
横屋
兔溪



織竹ナアミコノ種

野矢
絡陽花
カハチテシ
ヤコトテシ

世に中や忘さく雀雙

そも笑実を子居之

笑か姉妹を在の國水

萱草古志の楚山

葛陰子さけ大雀



クニサウ
萱草
ワスレタ
無夏物

お蔭子や笑れるの車もる緑車

玉簪花中へ流しり雀雙



紫草子

香樵

竹極や笑蔭子子 楚山

紫草子
唐王
又平

花くま茄子 柿くま 芥子くま 此菊 女体

茄子 芥子 芥子 芥子

芥子 芥子 芥子

芥子 芥子 芥子

芥子 芥子 芥子

芥子 芥子 芥子

芥子 芥子 芥子

芥子 芥子 芥子



ナスノ花
初茄子
長十スヒ
キチスヒ



日輪草
二ハリ
ロクハリ

日輪草 女史 雪光

日輪草 素徹 玉阜 月朗 笑朝 狸川 扇南 三乐 楚山

鷺草や足さるる中水の中可なり

鷺草の

水酌て

さつす

久田村

月鳳臺

大派や

鷺草白く 露水

鷺草のやけふ

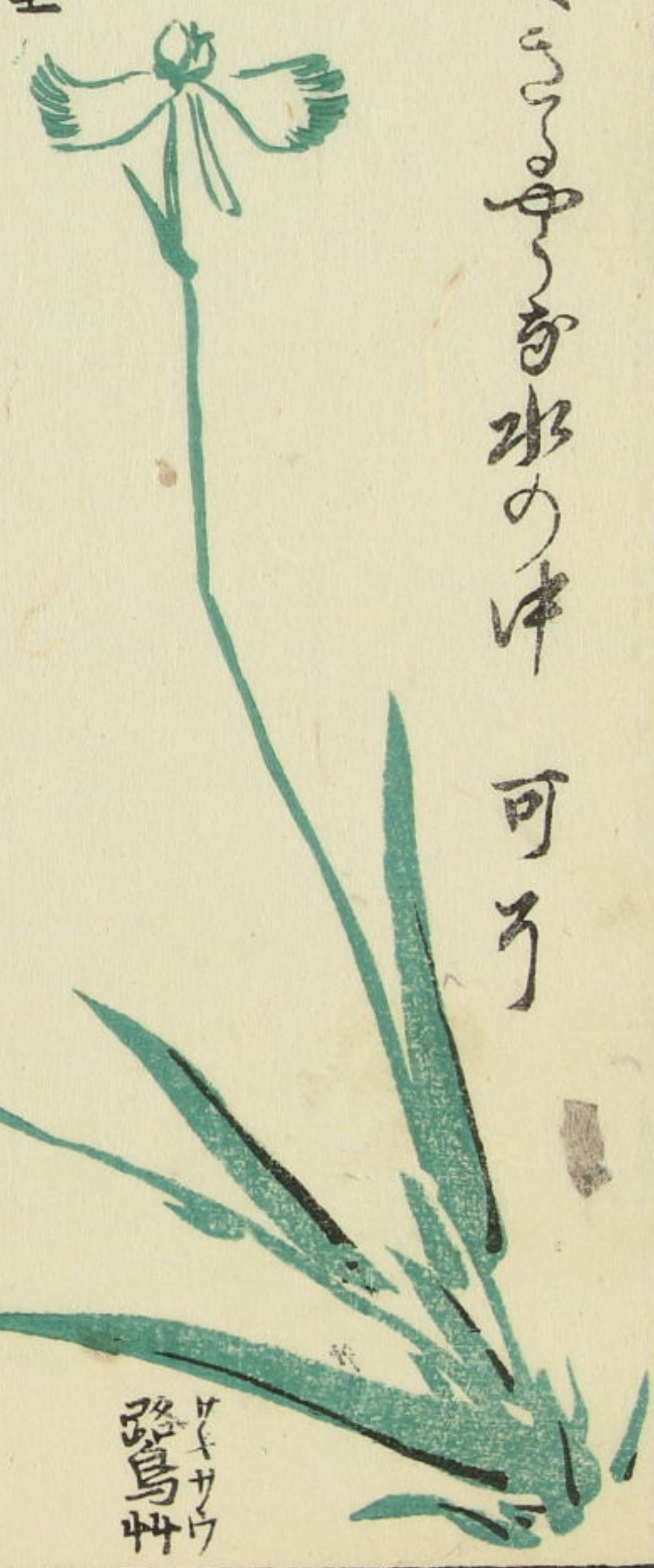
呉山

鷺草のやけふ

三雀

鷺草のやけふもやけふもあふ里

楚山



鷺草

鷺草のやけふ 後士

鷺草のやけふ 楚山

佛名の中なる 梅香

人なる 梅香

投うけのやけふ

鷺草の甲

鷺草の

竹馬の友れさるる

海松やふさふさの味つたさるる
さるる房や和らさるる味つたさるる
の星やみるる流るる庭あり
海松の月松とせる風情なり

楚山 巴人 白鹿 對来



鷺草 又ナワトリ

水菘房 海松 浮海松

引くこめれ
まきほつら子

根うら子

少女
健重



青鬼燈
赤毛ノ花

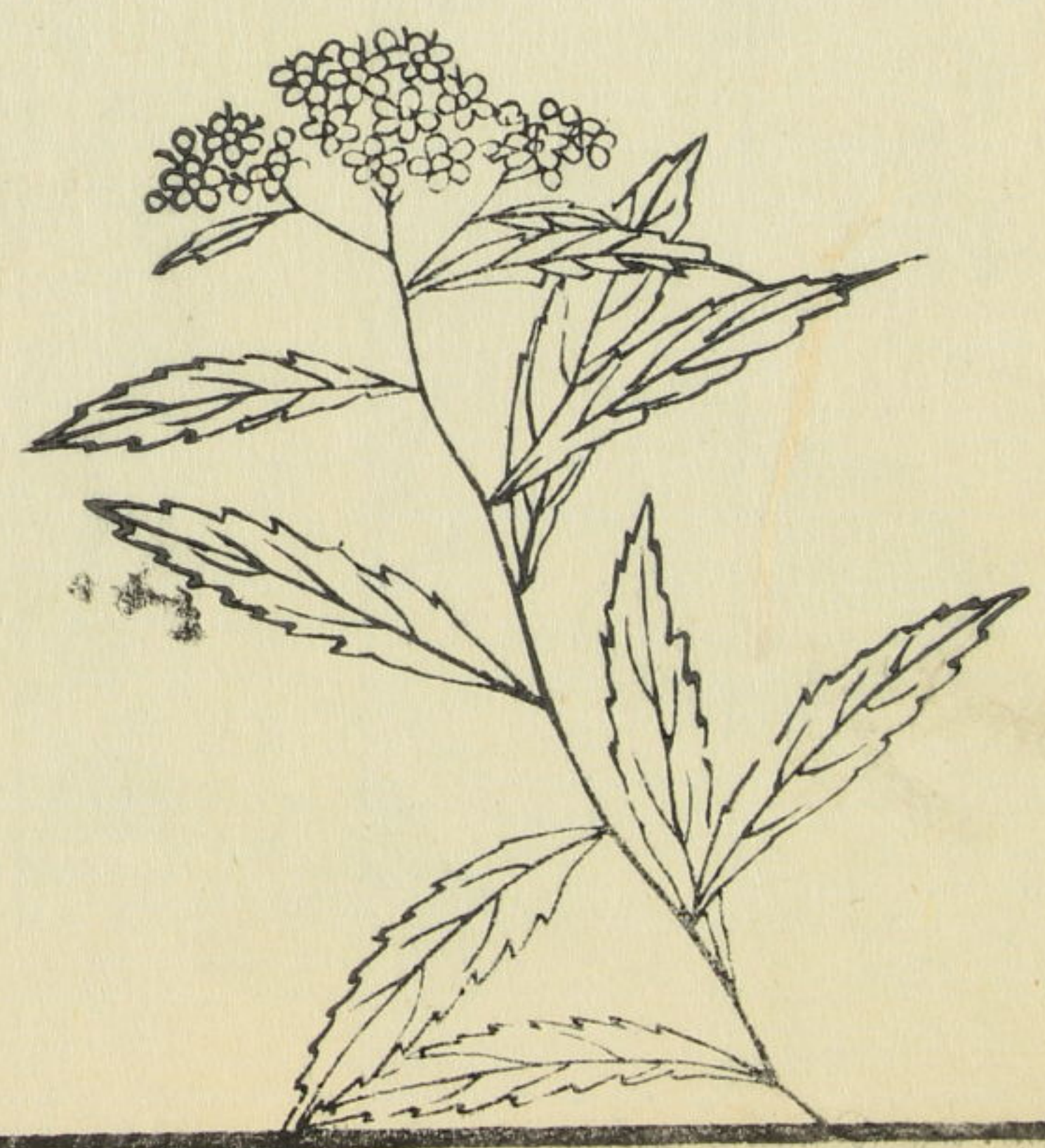
とくこめれ
花や瘡の
落るつけ 而后
其祖米の葉や
石屋り其産の跡
只樂
とくこめの
花のあつりや
名なり一草 席有
とくこめれ
忘し
猪子乃葛乃乃 宙丞
菰菜も
刈やうし 袖白染子やぬ 芝鴉
おそくぬ免れ かつらつら子 女
赤成楊



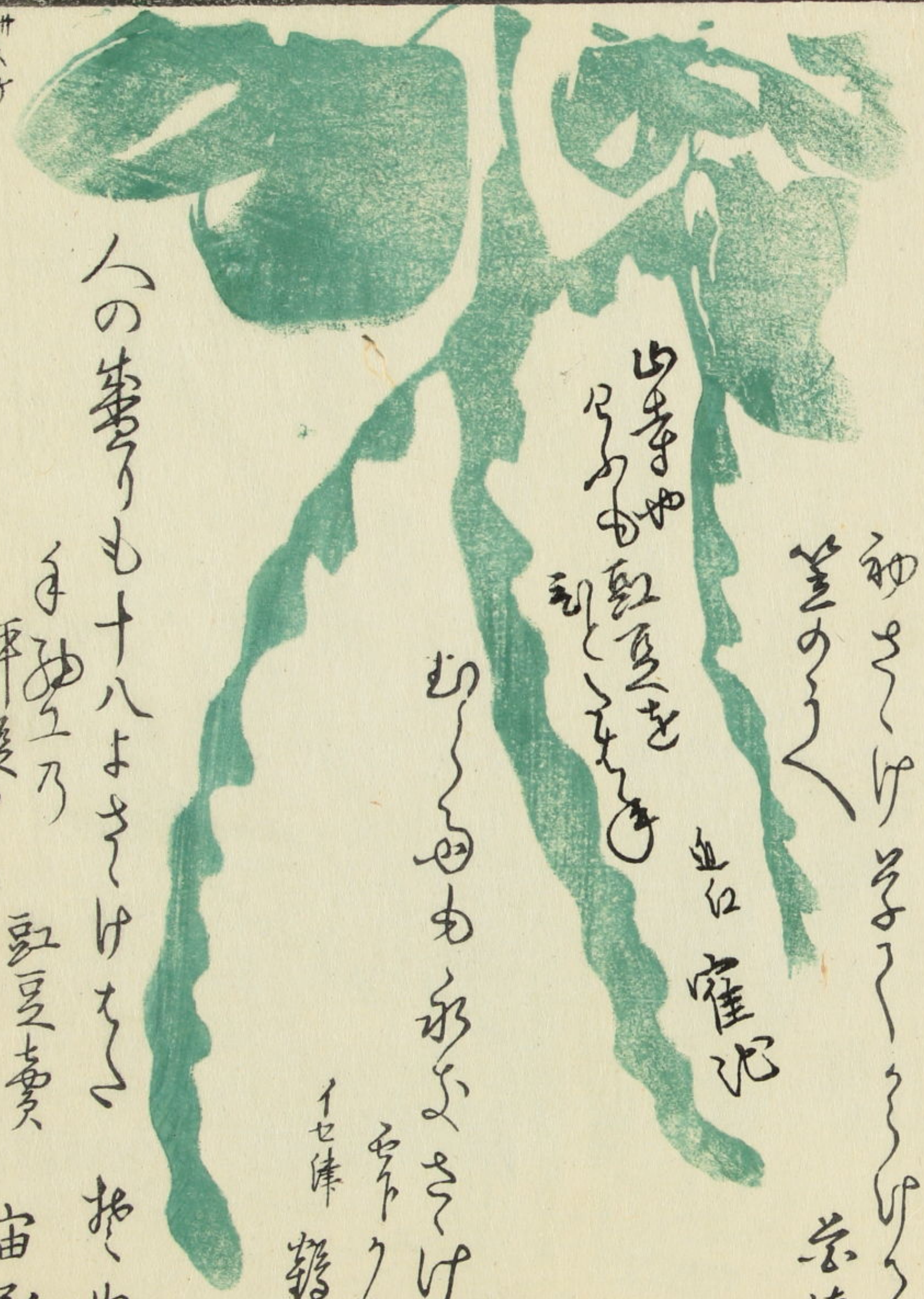
トウタノ
其祖米
シウヤク

去もつげのふねに
 中の子もぬふりゆ
 下毛此を赤蟻乃
 こつふま川
 知る人や茶下毛の
 麓まらる
 雨光
 雨光
 去もつげのふねに
 こつふま川

稲英



シモツク草
クサシモツク



紅豆

人の集りも十八よきけちさ 折山

手ゆえ乃
秤銀

紅豆と賣

宙蚕

山寺や
 紅豆を
 紅豆を
 紅豆を

白窪池

お〜ゆも承ぶさげの

イセ津
鶴古

初さ〜げさ〜
 差の〜
 赤鏡

さういれ子
 物の子孫
 草蕨うら
 三ノ宿
 扇浦
 まつもろ
 あまハ子もろ
 楚山

羽休
 立巢
 可兆



眞蕨
 千五十四

紫陽花や窓の下の山乃雲
 うらぬのきる夜八仙の日影
 あらさのゆほ子狐乃娘入あめ
 楚山
 立青
 峨鹿

紫陽花や
 窓の下の
 山乃雲
 うらぬの
 きる夜八
 仙の日影
 あらさの
 ゆほ子狐
 乃娘入あ
 め
 楚山
 立青
 峨鹿
 月鉤
 二笑
 木宮
 故入
 楚山



アキハ
 八仙
 紫陽花
 トカクハ
 不佳ト
 云氏今
 世ハ用
 コトナリ
 ス

肩拂を倚る
しそくおれ
えれ 芭蕉



目通りか一物富やぬりも神
うささりの救も入ぬおの毛
まよはるゝはさのぬれぬる魚江の毛
おぢも神子植より里の毛
ふるまのぬれも照るぬの毛

和友
五藤
香樵
李笑
楚山

三ノ子
紅ノ花
スツク

ガ
ニ
ヒ
眼
皮
草

おあ
ろるや
眼
皮
の
聲



楚山

カラスムキ
茶ヒキ料

巡りあふ雲も路の茶挽子
る河段物も山寂茶拵
子休言やにくまれ茶拵
望ふ旅ふりも志は茶拵
川堰ハ宗徳のつら茶挽子
土庫さひく茶拵

士乾
楚山
帰雄
東徳
真人
宙丞



首の葦

二三日あつたん
ちさくササ

并公の

大子朱

るのつら
葦のつら

芝鶏

山門の

ちさく

葦拵

島ちさ

南の

土道

ササノ
葦



筍本
地層
ハキキ

けさ本はうとく蕨り。旭ヶ
 帯本也。うすまり此。鹿のいし
 同下にある。帯本の鹿り。う
 ころ。本の下枝。あし。福のす
 帯本。此。影。由。室。あ。め。鹿。り。か
 げ。さ。い。さ。し。口。中。の。飯。ま。ら。ぬ
 帯。本。や。裁。い。ぬ。れ。い。ま。さ。の。く

至雀
旭之
影落
紫由
序朗
おし
大鶴



小鳥やあやうくうとく
 六月此を
 あゆくや
 あり
 苦さ
 兄えり
 金毛

アチトウカラシ
青番椒

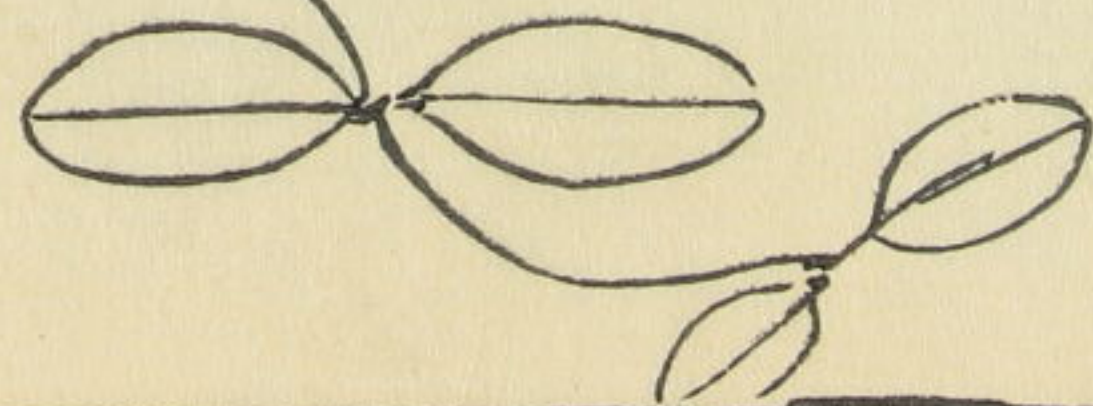
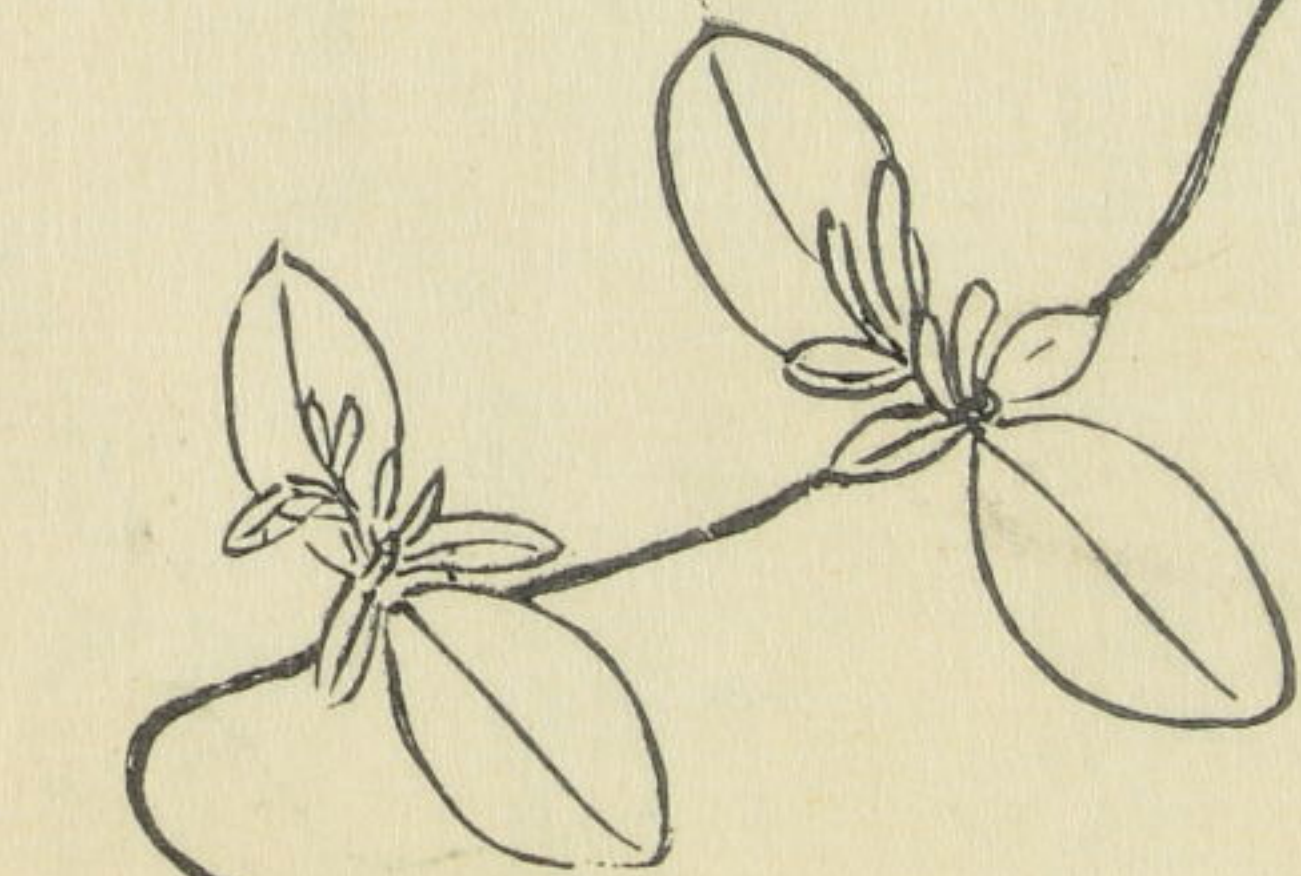


城南坊

君がこれ
 夢のとも
 驚ひの
 竹の子也 楚山

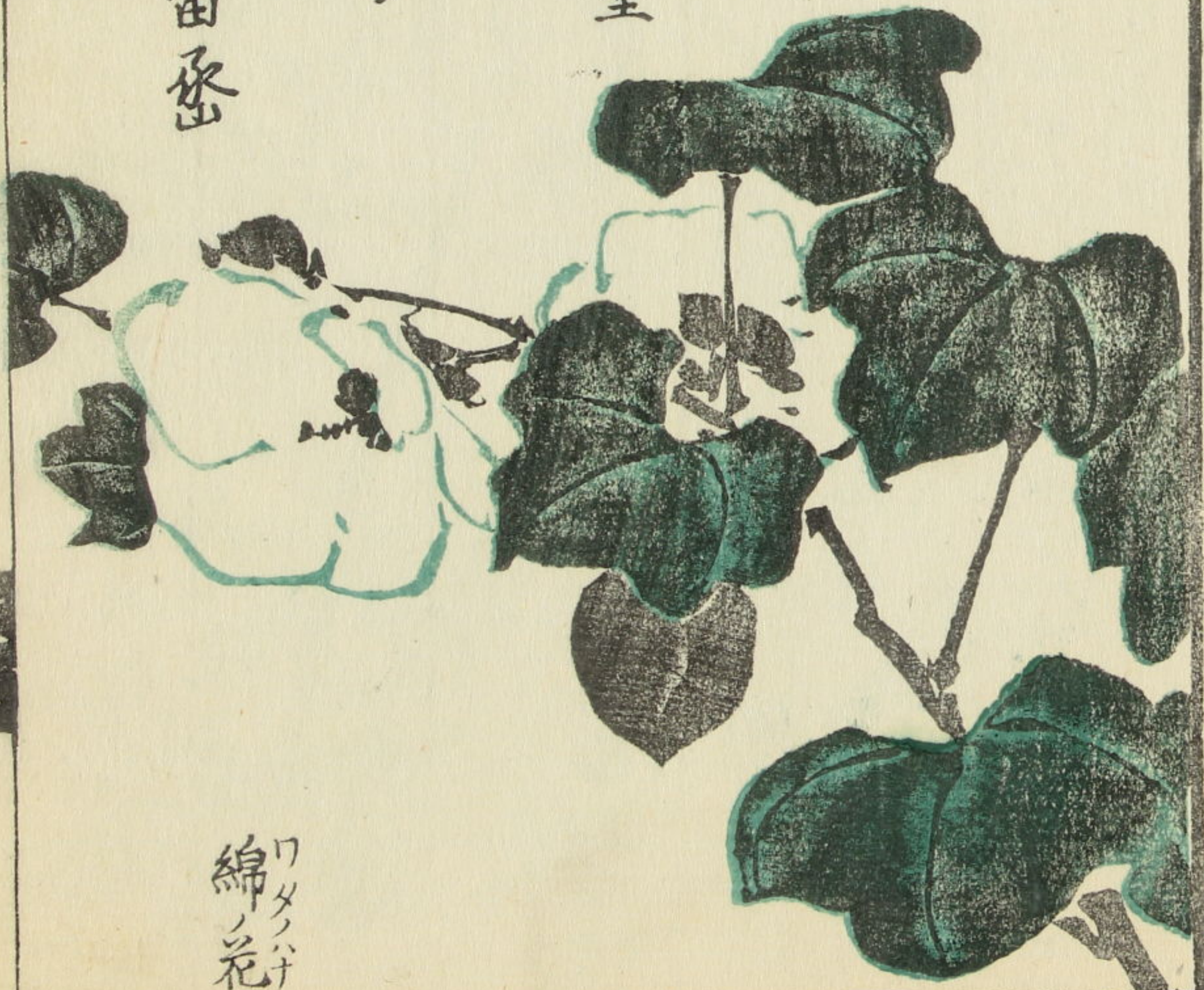
高藪や
 雲霞の
 半のまの
 うつゝ 支方

任持し一層しきれ
 あけやすひうゝ
 二仙
 悪みや世の
 ありあはれ
 根のまの
 花軌



三トウケ
 忍冬花
 金銀花
 又井口ラ

蝶々むむむむむむむ
 了もむけ 楚山
 ねのころよ生綿の
 されの生きぬ絶庵
 綿のむむむ
 素堂
 素堂
 了のまの 而后
 日のてりや
 山のまのけれ 宙丞
 綿乃まの

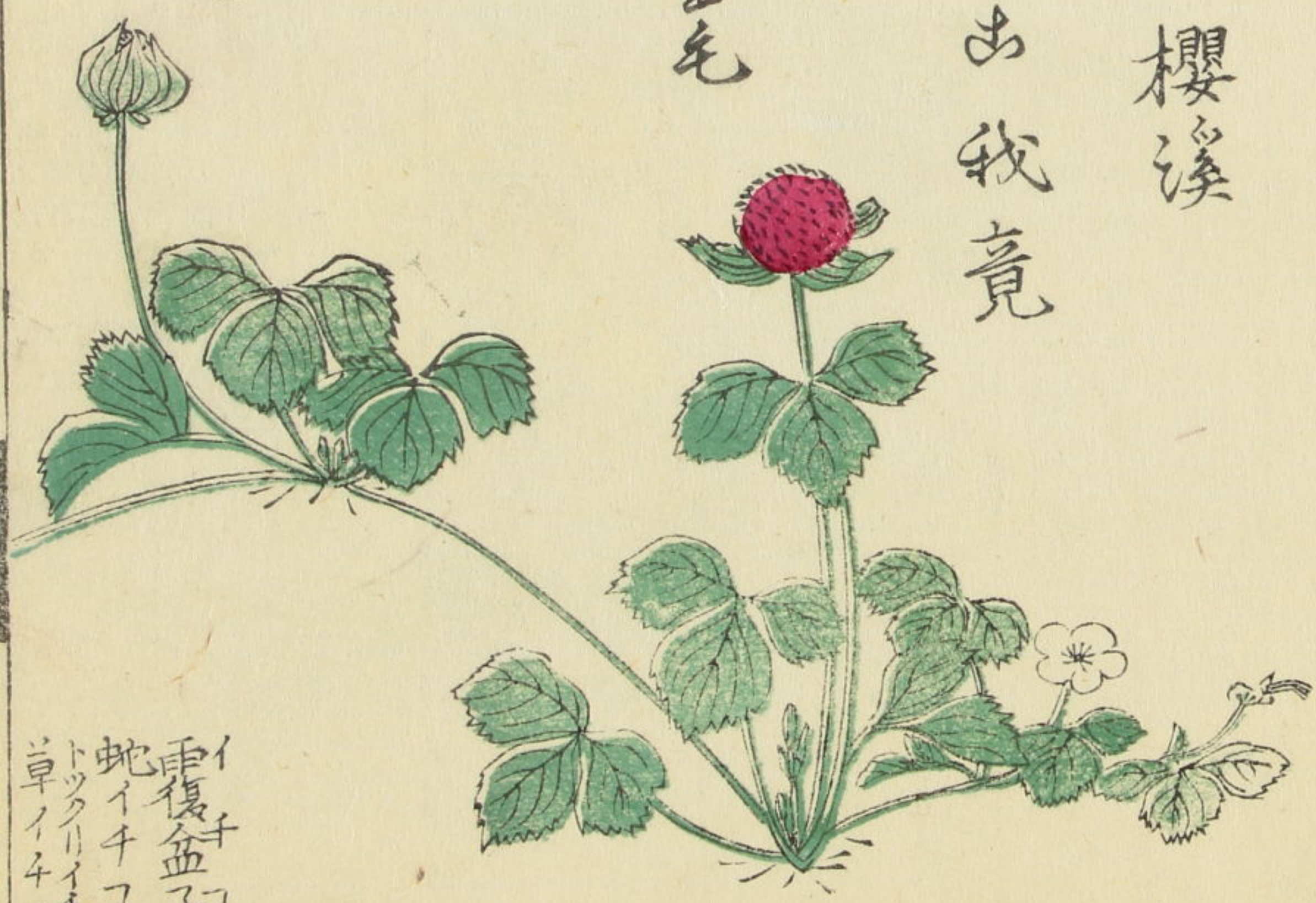


ワタシ
 綿花

太口持々乃好也
すうらいつらこらふ
雀叟

子子子子子
子子子子子
子子子子子
子子子子子
楚山

里此子の
つらめららさよ
いちこ時 金毛
石うけの
日くけつさや蔓つらあ我竟
温白の香れをつる母
赤文のちこら
櫻溪



イ千コ
覆盆子
蛇イ千コ
トクイイ
草イ千コ



風 見ゆる
花の柳の
未央柳の
う那
桂
花房れ涼
未央柳の
尼
果樹

未央柳
ヒカウヤキ

蓮白一誰う 徐英
好しの宮女

雲こぼす
さきりして
蓮の浮
葉の如 楚山
蓮の花の
上り字よ
あの内 素仙
戸の乳え
手印ろき蓮の白ゆ二笑
蓮のちりも
白のあやも
たかりらま 仙士



船くや 蓮子ささく 船あろりう坊
蓮見れをあろりもちう船ろりう坊
雨雨もあくやう又蓮のちりも
蓮のあろり船口のあや 船の音
和潮 芝洞 其白 一路

古寺や蓮の白く 保光

有車
かろり
一輪あを
白蓮花

蓮の花
八ノ井
八ノ井

蓮白の誰れ 佳暁
蓮白三度蓮

ひるの海は
さきりて蓮の
さきりて蓮の
伊波保

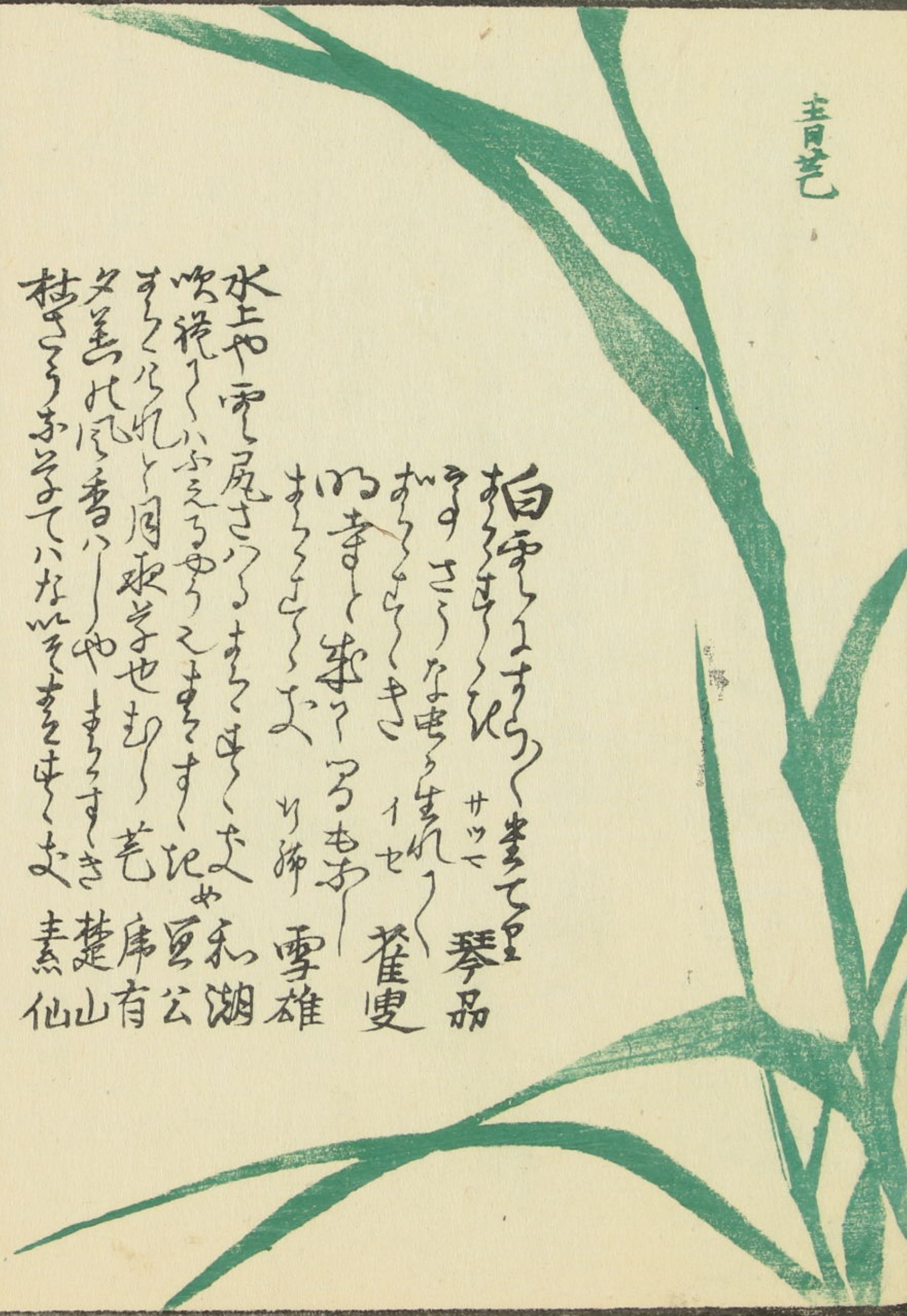


蓮花のあろり川ほのあろり
蓮のあろり蓮のあろり
蓮のあろり蓮のあろり
蓮のあろり蓮のあろり
蓮のあろり蓮のあろり

旭杏 凌山 故山 棠棣 五道 楚山

蓮のあろり蓮のあろり
蓮のあろり蓮のあろり
蓮のあろり蓮のあろり
蓮のあろり蓮のあろり
蓮のあろり蓮のあろり

青芭



白... 琴品 雀叟 雲雄 湖 席 楚 仙
水... 吹... 月... 素...

秀真

菰米



秀真
月秀
急溪
浅香山
抄山

河宵の夢や小ゝらの上より 旭松

ういりや

つら

魚ハ

何 貴す

萍蓬草や ぬれは濡る

風うふく 俊士

とくのわさ 河宵の夜や 保光

河宵はさくや 遊りあり泡 楚山

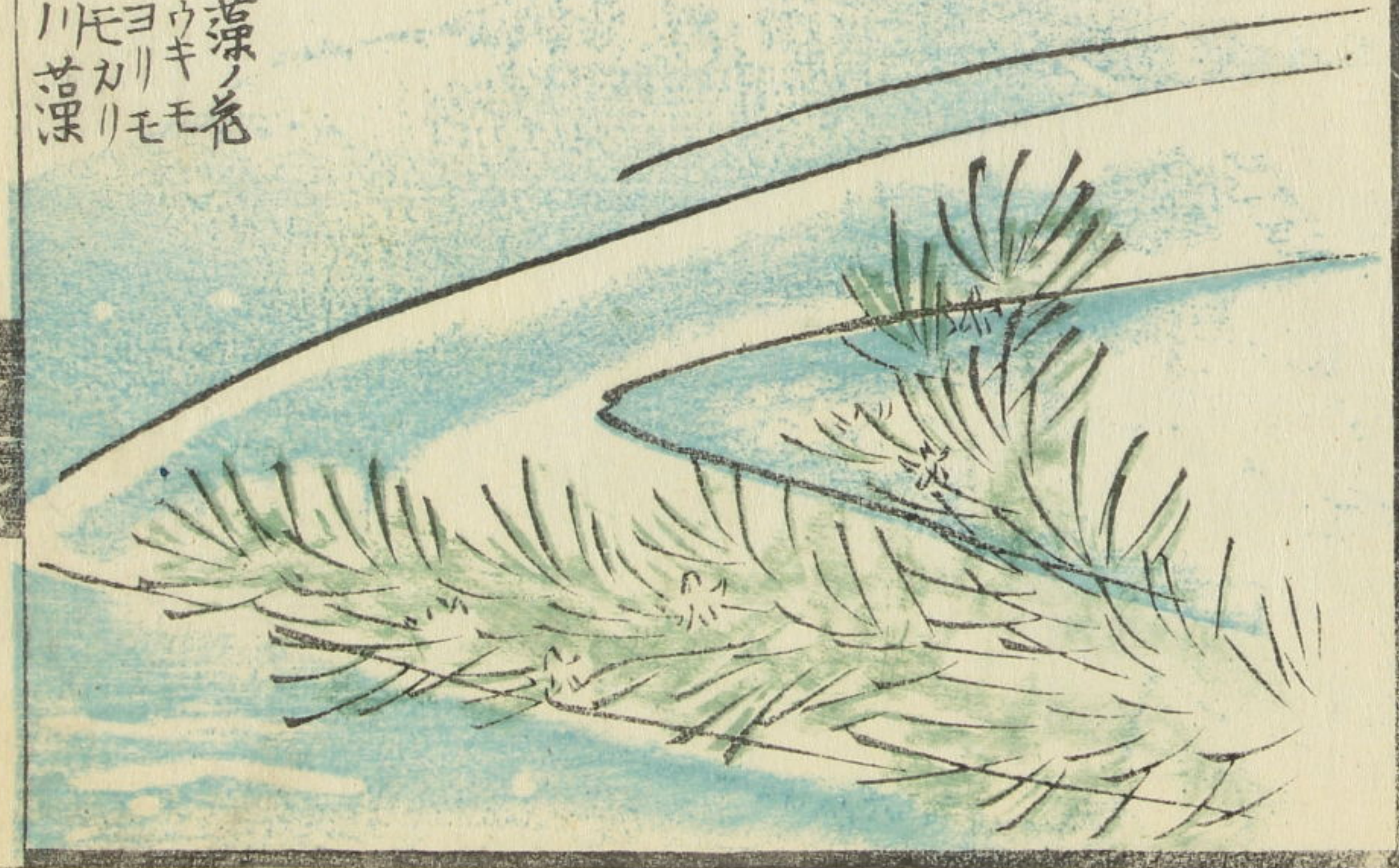
水より入むへいほ糸の形うち 蟹守

水より入むへいほ糸の形うち 蟹守



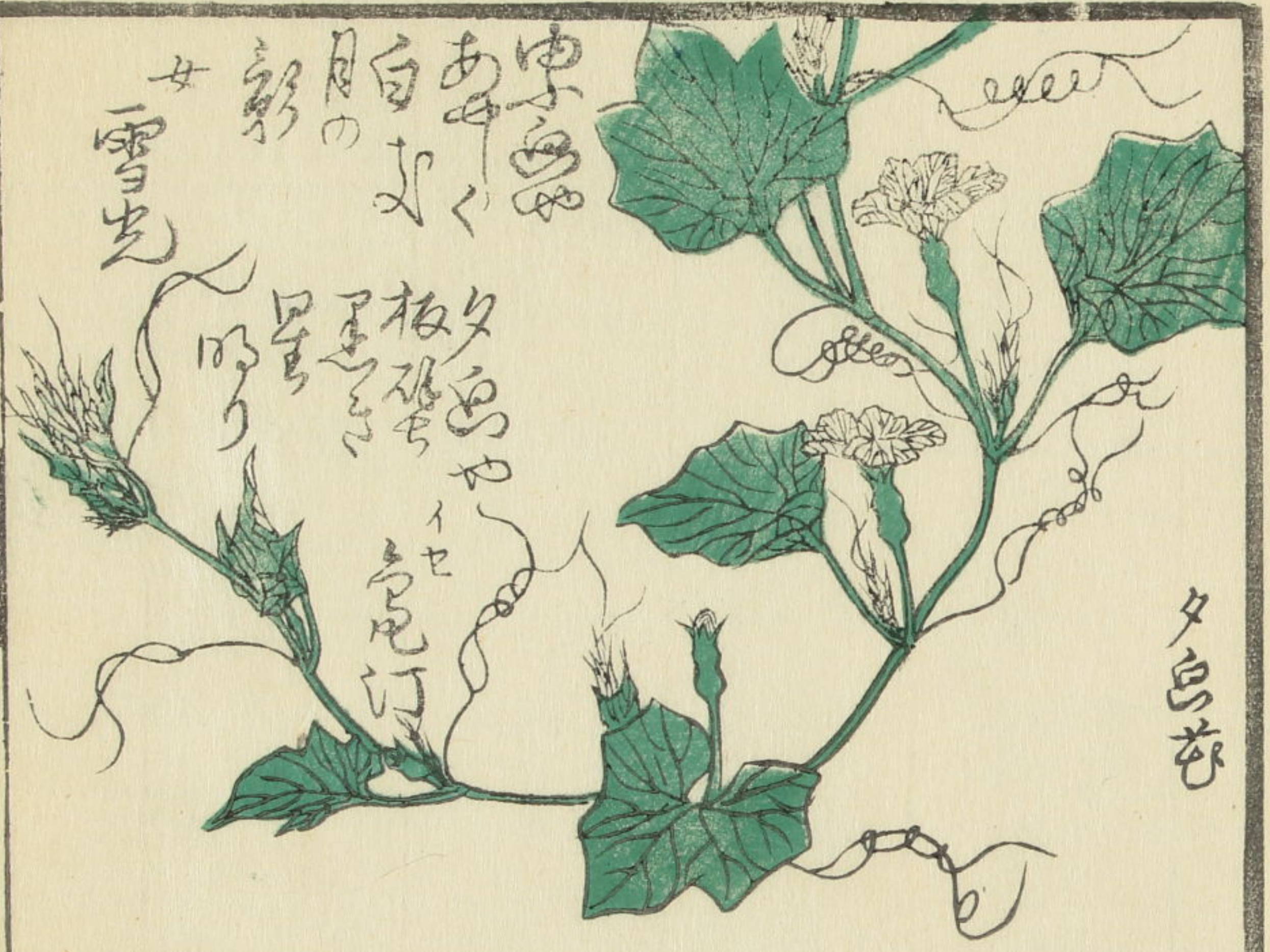
ゆのむすくまをり砂やより 大乃
 藤の香の寝子ぶや馬の豆 狂川
 帆の又えぬ日や藤の部の白より 朱梅
 しの色や湖てら 舟の拍子あり 笑翁
 浪よまゝる根のむ藤たをり 楚山
 藤のむを引ても執く小舟の舟 夙也
 こよの色や今もええさる魚の腹 序首
 藤の部の中子指たり 芝翁
 ものゝれめり 秘りなる内浪 里麦
 藤のむすくまをり 故 暁臺
 後 故 凡 托

藻ノ花
ヨキモ
川カモ
川藻



海士う子れ小海を
 己原すや葦の都 芝石
 坊水のゆきも 楚山
 赤の葦れをな 楚山
 有あれらぬつく 席有
 月影も
 ぬるらるや 鶏水
 即しれ茶
 葉の 一仙
 さくや葦れを
 せしり子
 埋まる池か
 葦地を 巴人

楚山



夕鳥花

夕鳥のむらさき
 老翁 夕岳
 申すふらりて
 斗のちね アツミ 三浦
 むらさき車ありや
 夕鳥のちね 雨足
 流まじり 大道
 申す所の揮えき
 そののちね 一草
 申す所のちね 有車
 流まじり 楚山
 夕鳥のちね 白の
 夜ト



凌宵花の子の姿
 紫黒
 雪君
 楚山
 菊泉
 宙丞
 秋甫

ノウゼニクハ
 凌宵花
 ノモカワラ

蘇村の如くつるまの好む子 眞公
 庭中の好む物 東宇
 子より外乃者
 切を味る物
 うやむやの子の
 下草 席有
 月ゆく好む物
 子の光りくれさす
 月か月か好む子
 かのりし 楚山



カヤツリクサ
 蘇草
 シヤサウ

夏さくやと〜肥く結る航の尻
 夏さくやと〜の〜成清くは
 夏さく〜夏菊もや標の〜
 夏菊や個馬、〜乃駕舟中
 夏さくや夏菊もさ〜
 夏さく〜も

夏菊の
 夏菊もさ



夏キリ

船の宿れぬは〜田〜名噴楚山
 山依の船ふり〜田〜大業
 八ふや夏菊もさ〜田〜紫黒
 秋さくの春〜田〜和潮
 夏〜田〜庭雅
 ぬ〜田〜梅香
 雨〜田〜立青
 世も旅〜田〜笑朝
 苗足せて〜田〜鳳臺
 人の事〜田〜楚雀
 群〜田〜大雀

主苗早苗田上田草



田

浮子さうらふあひかりりるいせ 亀堂
 浮きもれも流るゝ笑のちみいせ 甚江
 うき草ふかるほろりも浮世の 吟亮

草の中下流もこの新流何 紫練
 うき草のうき草のうき草のうき草 女とせ
 浮子や今春もも根なり 雨く 五音
 浮のちみいせあはれ 柳堤

うき草の 楚山
 うき草のあはれ

浮子 玉阜

浮く 赤ま

浮子

浮子

うき草の 池月朗

才毛方



うき草



